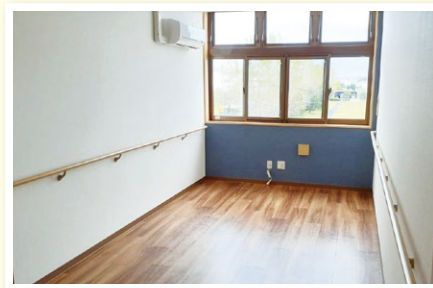




医療法人 美郷会 こころはす小新の増床についてのお知らせ



これまでユニット型個室3ユニット29床(2階)でしたが、11月から1ユニット9床(3階)増床し、合計定員38名となりました。皆さまのお力に少しでもなれるよう、職員一同頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

こころはす小新 管理者 本間

インフルエンザ・新型コロナウイルスワクチンの予防接種を受け付けています

新型コロナウイルスワクチンの4回目の予防接種を行っています。インフルエンザの予防接種も受け付けており、新型コロナウイルスワクチンも同時接種可能となっています。詳細は窓口か、お電話にてお問い合わせください。



医療法人 美郷会

西蒲中央病院

- 認知症対応型通所介護「デイサービスセンターみさと」
TEL:0256-88-5521 FAX:0256-88-5531
- 通所リハビリテーション
TEL:0256-88-0024(直通)
- 居宅介護支援事業所「ケアプランセンターチューリップ」
TEL:0256-88-0180(直通) FAX:0256-88-0181
- 訪問看護ステーション ●訪問リハビリテーション
TEL:0256-88-0171(直通) FAX:0256-88-0172
- 新潟市在宅医療・介護連携ステーション西蒲
TEL:0256-88-0022(直通) FAX:0256-88-0033
- 西蒲中央病院みさと訪問看護ステーション
TEL:025-211-2116(直通) FAX:025-211-2126

住宅型有料老人ホーム こころはす西蒲

- 短期入所生活介護事業所「ショートステイこころはす西蒲」
- 通所介護事業所「デイサービスセンターこころはす西蒲」
- 居宅介護支援事業所「こころはす西蒲」
- 訪問介護事業所「こころはす西蒲」
TEL:0256-88-3113 FAX:0256-88-3115

こころはす榎尾

- ショートステイ「こころはす榎尾」
TEL:025-211-8325 FAX:025-211-8326

こころはす亀貝

- ショートステイ「こころはす亀貝」
TEL:025-260-0261 FAX:025-260-0268
- デイサービスセンター「こころはす亀貝」
TEL:025-260-0255 FAX:025-260-0256

住宅型有料老人ホーム こころはす小針

- 「こころはすクリニック」
- 通所介護事業所「デイサービスセンターこころはす小針」
- 居宅介護支援事業所「こころはす小針」
- 訪問介護事業所「こころはす小針」
TEL:025-234-3800 FAX:025-234-3810

こころはす五十嵐

- ショートステイ「こころはす五十嵐」
TEL:025-201-6363 FAX:025-201-6360

こころはす小新

- ショートステイ「こころはす小新」
TEL:025-234-4661 FAX:025-234-4662(共通)
- 居宅介護支援事業所「こころはす小新」
TEL:025-234-4666

社会福祉法人 友愛会

グループホーム ゆうあい

- 認知症対応型 共同生活援助事業所
TEL:025-268-6840 FAX:025-268-6841

グループホーム ひまわりの家

- 認知症対応型 共同生活援助事業所
TEL:025-272-2701 FAX:025-272-2710

編集後記

[みさと編集委員会 後藤]

朝晩めっきり涼しくなり、秋が深まってきました。いまだにコロナ感染は終息していませんが昨年と異なること、それは3年ぶりに当院では「みさと祭」が開催されたことです。出来なかったことが出来る様になるということは本当に大きな喜びです。これからも感染対策をきちんと行い、少しずつでも楽しみが増えていく事を願うばかりです。



医療法人 美郷会

西蒲中央病院

発行責任者: 院長 鰐淵 勉
〒959-0423 新潟県新潟市西蒲区旗屋731番地
TEL/0256-88-5521(代)
FAX/0256-88-5531
http://www.misatokai.or.jp/



西蒲中央病院
ホームページ



西蒲中央病院
Facebook

西蒲中央病院

検索



西蒲中央病院

みさと
Misato

— 美郷会理念 —

人と地域にやさしいオアシスを目指します

第4回 西蒲中央病院祭みさと祭を開催いたしました!



たくさんのご来場、ありがとうございました!



- 新任医師のご紹介
- 第4回「みさと祭」を開催しました
- コラム「まろうよこころ」
- 新潟市在宅医療・介護連携ステーション西蒲より
- こころはす小新の増床についてのお知らせ
- インフルエンザ・新型コロナウイルスワクチンの予防接種を受け付けています



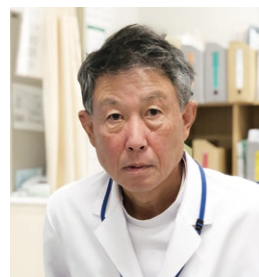
医療法人 美郷会

西蒲中央病院

新任医師のご紹介

当院に新しく着任致しました先生をご紹介します。

脳神経外科 吉田 誠一 医師



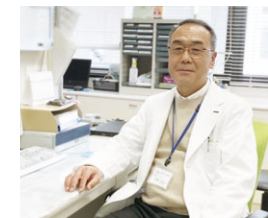
- 脳神経外科医
- 外来診療日：
毎週 月・水・木・土曜(午前)、月曜(午後)

吉田先生からのメッセージ

はじめまして。今年の10月からお世話になっている吉田です。生まれも育ちも西蒲で、高校まで蒲原平野のど真ん中で過ごしました。この辺は純農村地帯で十分な医療も受けられないまま亡くなっていく病人を身近に見ているうちに、何となく医学の道に進むようになりました。地元の大学卒業後は脳神経外科を専攻し、県内外の病院で頭部外傷、脳卒中、脳腫瘍などの治療に携わってきましたが、慢性期になってからのリハを含めた全身管理も学んできました。今後は、古株ですが、これまでの経験を活かし、故郷の地域医療に少しでも役立てるように努める所存です。宜しくお願いいたします。

「まもろうよこころ」

厚生労働省のホームページより



内科 笠原 和彦

我が国の人口は減少しています。毎年約60数万人の自然減です。これは島根県の人口に匹敵します。毎年県がひとつずつ消えていく。このままいくと100年後にはちょうど100年ほど前の明治時代後半と同じ約5,000万人にまで減少するという説もあります。ただ、居住に適した平野部の面積などからみれば我が国の適正人口は約5,500万人であり、悲観することはないという考えもあるようです。

しかし、看過できないことがあります。令和3年の我が国の自殺された方は21,007人もおられる。自殺死亡率にいたってはG7を構成する先進国7か国中、(統計にもよりますが)第1位なのです。しかも、小中高の若年層の自殺者数は小規模の学校が毎年ひとつ消えていく勘定で高止まりしているようです。国内に限ってみれば都道府県別の自殺死亡率が最も高い順から新潟は第3位です。原因・動機として、健康問題、次いで経済・生活問題などがあげられますが、自死される方の多くがうつ状態など何らかの精神的な問題を抱えていると言われています。冒頭に掲げた厚生労働省の「まもろうよこころ」では、自殺防止のため電話、SNSなどで相談窓口を設けるなど様々な対策を講じています。

やり直すために時間はあります。もうだめだ、と思う向こうに必ず道があります。「死んだら死んで生きていくさ」詩人、草野心平のことばです。半世紀前、確か毎日新聞で詩人の日常生活の連載記事を毎朝読むのが楽しみでした。型も桁も器も違う詩人の生きざまに接し、リフレッシュしてからバスに乗り込んだことを思い出します。さすが、宮沢賢治を発掘し世に広めた詩人です。「こういう生き方もある。死ぬな、生きよ」と読売新聞が次々とネット配信しています。

- ・「つらいことに直面したら、ごまかし続けていくのもいい...金原ひとみさん STOP自殺 #しんどい君へ(読売新聞オンラインより抜粋)」
- ・「それでも人生にイエスと言う」 V.E.フランクル

心がもやもやしたり、ざわついたら、

ひとりで悩まず伝えてほしい。



相談窓口はこちら

まもろうよこころ 検索



いのち 支える 厚生労働省

第4回

みさと祭を開催しました!!

令和4年10月15日土曜日に西蒲中央病院にて、病院祭「みさと祭」(みさとさい)を開催いたしました。患者様や地域の皆様との交流を目指し、毎年開催しておりましたが、昨年、一昨年と感染症のために開催を見合わせました。

感染対策を徹底し、規模・時間を縮小しての開催でしたが、約150名の方々に御越頂くことができました。参加された方々、ご協力頂いた方々に深く感謝いたします。今後も地域に寄り添う病院を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。



来場者様の声 (当日アンケートより抜粋)

- ・みなさんの作品がよくできていたと思います。
- ・初めて寄せていただきましたが、健康チェックや、いろんな体験させていただきました。
- ・職員の方たちが親切で感謝です。
- ・お花作り、良かったです。感謝しています。
- ・とても楽しいひと時でした。スタッフの皆さん大変ありがとうございました。

新潟市在宅医療・介護連携ステーション西蒲より

令和4年9月3日、西川多目的ホールにて、医療と介護の市民講座・『映画「ケアニン～あなたでよかった」上映会』を開催致しました。この映画は、認知症ケアをテーマに、小さな介護事業所を舞台として、新人介護福祉士が苦悩しながらも、認知症の担当利用者ご家族に本気で向き合い、介護という仕事を通して働くことの意味や、人と人、地域との繋がりの尊さが描かれた物語です。

ご参加いただいた方々からは、「認知症になっても普通の生活が出来る。否定せず本人を理解し、寄り添って生活することが大事」、「職員がワンチームとなり利用者を見守り、時に家族も支えていることを再認識した」などの感想が寄せられました。日頃現場で働く私たちにとっても、非常に感動する内容の映画でした。

また、映画鑑賞後には、認知症のひとと家族の会 新潟県支部副代表・等々力 務 様と参加者とのトークセッションを行いました。映画の感想を参加者同士で共有し等々力様からコメントをいただくことで、より深く認知症について考える機会となりました。



今回の催し物は、西蒲区社会福祉協議会様、新潟市地域包括支援センター西川様に共催いただき、小規模多機能型居宅介護事業所 ふれあい花見様、西川園域支え合いのしくみづくり推進員様にご協力をいただいて開催いたしました。関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

今後も医療や介護に関する講座を地域で行ってまいります。どうぞお気軽にお声かけください。

新潟市在宅医療・介護連携ステーション西蒲 (地域連携相談室内)
TEL/0256-88-0022 FAX/0256-88-0033 担当/梅川、加藤

